

【表紙】	
【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年6月24日
【事業年度】	自 平成26年1月1日 至 平成26年12月31日
【会社名】	ナティクス (Natixis)
【代表者の役職氏名】	ホールセール・バンキング部門グローバル・マーケット事業分野内 フィックスド・インカム、グローバルヘッド アラン・ガロワ (Alain Gallois, Global Head of Fixed Income within the Global Market Business Line of the Wholesale Banking)
【本店の所在の場所】	フランス、75013 パリ市ピエール・マンデスーフランス通り30番地 (30, avenue Pierre Mendès France, 75013 Paris, France)
【代理人の氏名又は名称】	弁護士 黒 田 康 之
【代理人の住所又は所在地】	東京都港区元赤坂一丁目2番7号 赤坂Kタワー アンダーソン・毛利・友常法律事務所
【電話番号】	03-6888-1000
【事務連絡者氏名】	弁護士 井 上 貴 美 子 弁護士 山 口 敏 寛 弁護士 阿 部 え り 香
【連絡場所】	東京都港区元赤坂一丁目2番7号 赤坂Kタワー アンダーソン・毛利・友常法律事務所
【電話番号】	03-6888-5873 03-6888-1143 03-6888-1118
【縦覧に供する場所】	該当事項なし

1 【提出理由】

平成27年5月29日に提出いたしました平成26年12月31日に終了した事業年度に係る有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

また、添付書類である定款を差し替えます。

2 【訂正事項】

訂正を要する箇所及び訂正した箇所には下線を付しております（なお、平成27年5月29日に提出いたしました有価証券報告書において付されていた下線は、訂正した箇所を明示するため、本有価証券報告書の訂正報告書においては表示しておりません。）。

定款はその全部を差し替えております。

第一部 【企業情報】

第1 【本国における法制等の概要】

1 【会社制度等の概要】

（1）【提出会社の属する国・州等における会社制度】

<訂正前>

（前略）

i) 株式に付与された権利

（中略）

(ii) 議決権

一般に、1株当たりの株式の議決権の数は、保有する資本金の割合に比例するが、これは定款の特定の規定により変更することができる。原則として、1株は少なくとも1個の議決権を有する。株主1名当たりの議決権の数を制限することは可能であるが、かかる制限は同一の種類全株式に適用されなければならない。さらに、同一の株主が最低2年間全額払込済の記名式株式を所有する場合に限り、定款に定めることにより、かかる株式に2倍の議決権を与えることができる。

（後略）

<訂正後>

（前略）

i) 株式に付与された権利

（中略）

(ii) 議決権

2014年3月29日付法律第2014-384号が公布された後に採用された定款の条項に別段の定めがある場合を除き、その株式が統制市場で取引が認められている企業においては、同一の株主が最低2年間保有するすべての全額払込済の記名式株式に対して2倍の議決権が付与されている。

（後略）

(2) 【提出会社の定款等に規定する制度】

<訂正前>

以下の記載は、フランス法の一定の条項における本書提出日現在までの当行の定款の規定の要約である。かかる当行の要約された情報に関する記載は完全なものでなく、そのすべてにつき当行の定款を参照することが必要である。定款は2015年3月2日に最終更新された。

(中略)

経営

(a) 取締役会（定款第9条及び第11条）

(i) 取締役会の構成

(中略)

取締役の任期は6年とし、再任可能とする。取締役の任期は、取締役の任期が満了する年に開催され、前事業年度に係る財務書類の承認が行われる定時株主総会の終結時に終了する。

(中略)

(c) 監査人（定款第18条）

定時株主総会は、1人又は複数名の監査人を選任することができる。監査人の任期は6年とする。監査人の任期は、その任期が満了する年に開催され、前事業年度に係る財務書類の承認が行われる定時株主総会の終結時に終了する。

(中略)

株主総会

(中略)

(c) 参加許可及び委任状（定款第22条）

株主総会は未払金のないすべての株主で構成される。定時株主総会への出席権を得るためには、フランス商法第R225-85条に従い、定時株主総会の3営業日前の午前零時（パリ時間）までに、記名式の株式であれば当行の株主名簿又は無記名式の株式であれば適切な仲介機関の株主名簿に登録されていなくてはならない。

記名式の株式の所有者については、株主総会の3日前までの株主名簿への登録をもって、株主総会への参加が認められる。無記名式の株式の所有者については、適切な仲介機関が、無記名式の株主名簿を保有し、株主総会の中核組織に対し直接的に顧客の株主としての資格を証明する。かかる仲介機関は、かかる証明を、投票用紙又は株主名義若しくは株主の代理を務める登録仲介機関名義の入場許可請求書に添付される証明書を作成することにより行う。かかる証明書は、自ら株主総会に出席することを希望し、定時株主総会の3営業日前の午前零時（パリ時間）までに入场許可証を受領していない株主についても送付される。

(中略)

株主総会前にかかる電磁的方法により行われた委任状又は投票は、これに対して発行される受領証と併せて、取消不能な書面としてみなされ、いかなる場合にも法的拘束力を有するものとするが、株主総会の3営業日前の午前零時（パリ時間）までに株式の売却が行われた場合には、当行はこれを受けて、その日時までに行われた委任状又は投票を無効か又は変更する（場合による。）ことが明記されている。

(中略)

(d) 議決権（定款第25条）

定時株主総会における各株主はその所有する又は代表する株式の数に応じた数の議決権を有する。

(後略)

<訂正後>

以下の記載は、フランス法の一定の条項における本書提出日現在までの当行の定款の規定の要約である。かかる当行の要約された情報に関する記載は完全なものでなく、そのすべてにつき当行の定款を参照することが必要である。定款は2015年5月19日に最終更新された。

(中略)

経営

(a) 取締役会（定款第9条及び第11条）

(i) 取締役会の構成

(中略)

取締役の任期は4年とし、再任可能とする。取締役の任期は、取締役の任期が満了する年に開催され、前事業年度に係る財務書類の承認が行われる定時株主総会の終結時に終了する。

(中略)

(c) 監査人（定款第18条）

定時株主総会は、1人又は複数名の監査人を選任することができる。監査人の任期は4年とする。監査人の任期は、その任期が満了する年に開催され、前事業年度に係る財務書類の承認が行われる定時株主総会の終結時に終了する。

(中略)

株主総会

(中略)

(c) 参加許可及び委任状（定款第22条）

株主総会は未払金のないすべての株主で構成される。定時株主総会への出席権を得るためには、フランス商法第R225-85条に従い、定時株主総会の2営業日前の午前零時（パリ時間）までに、記名式の株式であれば当行の株主名簿又は無記名式の株式であれば適切な仲介機関の株主名簿に登録されていなくてはならない。

記名式の株式の所有者については、株主総会の2日前までの株主名簿への登録をもって、株主総会への参加が認められる。無記名式の株式の所有者については、適切な仲介機関が、無記名式の株主名簿を保有し、株主総会の中核組織に対し直接的に顧客の株主としての資格を証明する。かかる仲介機関は、かかる証明を、投票用紙又は株主義若しくは株主の代理を務める登録仲介機関名義の入場許可請求書に添付される証明書を作成することにより行う。かかる証明書は、自ら株主総会に出席することを希望し、定時株主総会の2営業日前の午前零時（パリ時間）までに入场許可証を受領していない株主についても送付される。

(中略)

株主総会前にかかる電磁的方法により行われた委任状又は投票は、これに対して発行される受領証と併せて、取消不能な書面としてみなされ、いかなる場合にも法的拘束力を有するものとするが、株主総会の2営業日前の午前零時（パリ時間）までに株式の売却が行われた場合には、当行はこれを受けて、その日時までに行われた委任状又は投票を無効か又は変更する（場合による。）ことが明記されている。

(中略)

(d) 議決権（定款第25条）

株主総会における各株主は保有する数又は株式によって代表される数の議決権を有する。フランス商法第L.225-123条-3項の下で2年間同じ株主名が株主名簿に表示されている全額払込済株式には、例外的に2倍の議決権が付与される。

(後略)

第2 【企業の概況】

3 【事業の内容】

<訂正前>

(前略)

(b) 投資ソリューション

(中略)

① 資産運用及びプライベート・バンキング

(中略)

資産運用：グローバル・プレーヤー

(中略)

2014年末の運用資産総額は310.4十億ドルとなり、これは、NGAMの運用資産総額の35%となっている。米国では、販売運用資産は1年間で17%上昇し、188.3十億ドルとなった。国際運用資産（米国を除く）は7%上昇し、合計で122.1十億ドルとなった。

(中略)

(d) 金融投資

(中略)

販売及びマーケティング戦略の展開

(中略)

当該戦略は、*Strong Commitment II*事業計画の推進力となっており、革新及びマルチチャンネル販売モデルの導入といった2つの柱に基づいている。

(中略)

引受リスクの管理において秀でるための継続的な努力

(中略)

2014年1月に、ブルガリア、リトアニア、ラトビア及びタイにおいて、より強固なリスク分析をこれらの国々で確保するための4つの高度情報センターの営業が開始された。

(後略)

<訂正後>

(前略)

(b) 投資ソリューション

(中略)

① 資産運用及びプライベート・バンキング

(中略)

資産運用：グローバル・プレーヤー

(中略)

2014年末の運用資産総額は310.4十億米ドルとなり、これは、NGAMの運用資産総額の35%となっている。米国では、販売運用資産は1年間で17%上昇し、188.3十億米ドルとなった。国際運用資産（米国を除く）は7%上昇し、合計で122.1十億米ドルとなった。

(中略)

(d) 金融投資

(中略)

販売及びマーケティング戦略の展開

(中略)

当該戦略は、*Strong Commitment II*事業計画の推進力となっており、革新及びマルチチャンネル販売モデルの導入といった2つの主要な柱に基づいている。

(中略)

引受リスクの管理において秀でるための継続的な努力

(中略)

2014年1月に、ブルガリア、リトアニア、ラトビア及びタイにおいて、より強固なリスク分析をこれらの国々で確保するための4つの高度情報センターの営業が開始された。また、年度中にインドネシアにも新たなセンターが開かれた。

(後略)

第3 【事業の状況】

4 【事業等のリスク】

<訂正前>

(前略)

(5) 信用リスク及び取引相手方リスク（カントリーリスクを含む。）

(中略)

(f) 手続を監視する契約

(中略)

ストレス・シナリオの影響

(中略)

- ・ 2013年に報告されたストレス範囲全体に適用される4つのストレス・シナリオの形のマクロ経済の前提。これらは1つの基準ポートフォリオ（事実上の予算シナリオ）及び3つの危機シナリオ（商品価格ショック、フランスのソブリン利回りの増加による欧州の銀行及びソブリンの危機、又はアジア危機を背景とした米国での信用危機）から構成される。これらは、リスク部門との協力により経済調査チームが策定する。

(中略)

(g) 信用リスク・エクスポージャー

(中略)

資産クラス及び方式別のEAD

欧州の銀行子会社並びに上場デリバティブ、繰り延べ税金資産、リテール顧客及び不動産リースへのエクスポージャーには、標準方式が適用される。

(単位：百万ユーロ)	IRBA方式	IBR-F方式	標準方式	合計
エクスポージャークラス				
企業				
中小企業及びSF以外	73,716	16,426	5,978	96,120
専門的ファイナンス (SF)	15,262	12		15,274
中小企業	1,517	578	554	2,649
小計	90,495	17,016	6,532	114,043
機関	87,570	3,742	14,963	106,275
中央政府及び中央銀行				
中央政府及び中央銀行	67,746	457	5,768	73,971
地域政府又は地方自治体			832	832
公共部門事業体			730	730
小計	67,746	457	7,330	75,533
証券化	8,294		175	8,469
その他の項目	221	26	6,247	6,494
株式エクスポージャー		5,390	39	5,429
リテール				
中小企業	363		2,241	2,604
中小企業以外	394		647	1,041
小計	757		2,888	3,645
不動産抵当付エクスポージャー			2,543	2,543
短期格付を有する期間及び法人に対するエクスポージャー			1,922	1,922
デフォルト時エクスポージャー			870	870
合 計 (2014年12月31日現在)	255,083	26,631	43,509	325,223
合 計 (2013年12月31日現在) *	255,976	23,112	22,243	301,332

(中略)

残余機関及び資産クラス別のEAD

債権、株式及び証券化のポジションを表章しない他の項目は除く。

(単位：百万ユーロ)	3ヶ月未満	1年未満	2年未満	4年未満	5年超	合計
エクスポージャーの分類						
中小企業及びSF 以外	29,392	19,091	10,791	28,354	8,492	96,120

(中略)

内部格付別 (S&Pに相当) のEAD

以下の表は、内部格付方式 (IRB) を用いて計算した資産クラスに対する内部格付 (S&Pに相当) 別にリスクに関するエクスポージャーの内訳を示している。ただし、以下を控除後とする。

(中略)

(h) 取引相手方の信用リスク・エクスポージャー**信用デリバティブ・リスク削減法の影響**

(単位：百万ユーロ)	再構築コスト			潜在的な信用 リスク	信用リスクに相当			マージン コールを含む契約
	想定元本	正の総計	正の純額 (a)		担保前	担保後	受領担保	
売り/買い								
売り	44,110	885	30	958	1,573	988	585	40,348
買い	38,559	781	10	802	1,029	813	217	38,559

(a) 規制上の相殺契約を適用後。

(中略)

(9) 総合的な金利リスク、流動性リスク、構造的な為替リスク
(IFRS 7に従い、法定監査人により認定されたデータ)

(a) 組織

(後略)

<訂正後>

(前略)

(5) 信用リスク及び取引相手方リスク (カントリーリスクを含む。)

(中略)

(f) 手続を監視する契約

(中略)

ストレス・シナリオの影響

(中略)

- ・ 2013年に報告されたストレス範囲全体に適用される4つのストレス・シナリオの形のマクロ経済の前提。これらは1つの基準シナリオ（事実上の予算シナリオ）及び3つの危機シナリオ（商品価格ショック、フランスのソブリン利回りの増加による欧州の銀行及びソブリンの危機、又はアジア危機を背景とした米国での信用危機）から構成される。これらは、リスク部門との協力により経済調査チームが策定する。

(中略)

(g) 信用リスク・エクスポージャー

(中略)

資産クラス及び方式別のEAD

欧州の銀行子会社並びに上場デリバティブ、繰り延べ税金資産、リテール顧客及び不動産リースへのエクスポージャーには、標準方式が適用される。

(単位：百万ユーロ)				
エクスポージャークラス	IRB-A方式	IBR-F方式	標準方式	合計
企業				
中小企業及びSF以外	73,716	16,426	5,978	96,120
専門的ファイナンス (SF)	15,262	12		15,274
中小企業	1,517	578	554	2,649
小計	90,495	17,016	6,532	114,043
機関	87,570	3,742	14,963	106,275
中央政府及び中央銀行				
中央政府及び中央銀行	67,746	457	5,768	73,971
地域政府又は地方自治体			832	832
公共部門事業体			730	730
小計	67,746	457	7,330	75,533
証券化	8,294		175	8,469
その他の項目	221	26	6,247	6,494
株式エクスポージャー		5,390	39	5,429
リテール				
中小企業以外	363		2,241	2,604
中小企業	394		647	1,041
小計	757		2,888	3,645
不動産抵当付エクスポージャー			2,543	2,543
短期格付を有する期間及び法人に対するエクスポージャー			1,922	1,922
デフォルト時エクスポージャー			870	870

合 計 (2014年12月31日現在)	255,083	26,631	43,509	325,223
合 計 (2013年12月31日現在) *	255,976	23,112	22,243	301,332

(中略)

残余期間及び資産クラス別のEAD

債権、株式及び証券化のポジションを表章しない他の項目は除く。

(単位：百万ユーロ)		3ヶ月以内	1年以内	2年以内	5年以内	5年超	合計
エクスポージャーの分類							
中小企業及びSF							
以外		29,392	19,091	10,791	28,354	8,492	96,120

(中略)

IRBを用いて計算した資産クラスに対する内部格付（S&Pに相当）別の平均加重

以下の表は、内部格付方式（IRB）を用いて計算した資産クラスに対する内部格付（S&Pに相当）別にリスクに関するエクスポージャーの内訳を示している。ただし、以下を控除後とする。

(中略)

(h) 取引相手方の信用リスク・エクスポージャー

信用デリバティブ・リスク削減法の影響

(単位：百万ユーロ)	再構築コスト		(a)	潜在的な信用リスク	信用リスクに相当			マージンコールを含む契約
	想定元本	正の総計	正の純額		担保前	担保後	受領担保	
売り/買い								
買い	44,110	885	30	958	1,573	988	585	40,348
売り	38,559	781	10	802	1,029	813	217	38,559

(a) 規制上の相殺契約を適用後。

(中略)

(9) 総合的な金利リスク、流動性リスク、構造的な為替リスク

(IFRS 7に従い、法定監査人により認定されたデータ)

(a) ガバナンス

(後略)

7 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

<訂正前>

(前略)

(1) 2014年12月31日に終了した事業年度

(a) 2014年12月31日現在の経営報告書

(中略)

④ ナティクシスの事業分野別分析

(中略)

(ii) 投資ソリューション

(中略)

貸倒引当金は、5.0百万ユーロの急激な増加となった。このうち3.3百万ユーロは、資産運用、1.7百万ユーロはプライベート・バンキングに関するものであった。

(後略)

<訂正後>

(前略)

(1) 2014年12月31日に終了した事業年度

(a) 2014年12月31日現在の経営報告書

(中略)

④ ナティクシスの事業分野別分析

(中略)

(ii) 投資ソリューション

(中略)

貸倒引当金は、5.0百万ユーロの急激な減少となった。このうち3.3百万ユーロは、資産運用、1.7百万ユーロはプライベート・バンキングに関するものであった。

(後略)

第5 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(3) 【発行済株式総数及び資本金の推移】

<訂正前>

過去5年間における資本の推移

	事業年度当初 における株式数	事業年度中 の新規株式	事業年度末 における株式数	株式資本 (単位：ユーロ)
2010年	2,908,137,693	0	2,908,137,693	4,653,020,308.80
2011年	2,908,137,693	174,208,195 ^(a)	3,082,345,888	4,931,753,420.80
2012年	3,082,345,888	3,868,906	3,086,214,794	4,937,943,670.40
2013年	3,086,214,794	14,080,396	3,100,295,190	4,960,472,304.00
2014年	3,100,295,190	16,167,431	3,116,507,621	4,986,412,193.60

(a) 株式による配当の支払に追加する増資。

下記の表は、資本に影響を与える各取引の発行プレミアムの金額の詳細である。

事業年度	日付	株式数	株式資本 (単位：ユーロ)	増資時の発行 プレミアム (単位：ユーロ)
2010年	1月1日	2,908,137,693	4,653,020,308.80	
	12月31日	2,908,137,693	4,653,020,308.80	
2011年	1月1日	2,908,137,693	4,653,020,308.80	
	株式による配当の支払	174,208,195	278,733,112	289,185,603.70
	12月31日	3,082,345,888	4,931,753,420.80	
2012年	1月1日	3,082,345,888	4,931,753,420.80	
	無償株式割当	3,868,906	6,190,249.60	
	12月31日	3,086,214,794	4,937,943,670.40	
2013年	1月1日	3,086,214,794	4,937,943,670.40	

	無償株式割当	5,640,766	9,025,226	
	増資における従業員向け株式の発行	8,439,630	13,503,408	10,127,556
	12月31日	3,100,295,190	4,960,472,304.00	
2014年	1月1日	3,100,295,190	4,960,472,304.00	
	無償株式割当	6,216,106	10,017,769.60	
	増資における従業員向け株式の発行	9,951,325	15,922,120	24,291,184.33
	12月31日	3,116,507,621	4,986,412,193.60	

(後略)

<訂正後>

過去5年間における資本の推移

	事業年度当初 における株式数	事業年度中 の新規株式	事業年度末 における株式数	株式資本 (単位：ユーロ)
2010年	2,908,137,693	0	2,908,137,693	4,653,020,308.80
2011年	2,908,137,693	174,208,195 ^(a)	3,082,345,888	4,931,753,420.80
2012年	3,082,345,888	3,868,906	3,086,214,794	4,937,943,670.40
2013年	3,086,214,794	14,080,396	3,100,295,190	4,960,472,304.00
2014年	3,100,295,190	16,212,431	3,116,507,621	4,986,412,193.60

(a) 株式による配当の支払に追加する増資。

下記の表は、資本に影響を与える各取引の発行プレミアムの金額の詳細である。

事業年度	日付	株式数	株式資本 (単位：ユーロ)	増資時の発行 プレミアム (単位：ユーロ)
2010年	1月1日	2,908,137,693	4,653,020,308.80	
	12月31日	2,908,137,693	4,653,020,308.80	
2011年	1月1日	2,908,137,693	4,653,020,308.80	
	株式による配当の支払	174,208,195	278,733,112	289,185,603.70
	12月31日	3,082,345,888	4,931,753,420.80	
2012年	1月1日	3,082,345,888	4,931,753,420.80	
	無償株式割当	3,868,906	6,190,249.60	
	12月31日	3,086,214,794	4,937,943,670.40	
2013年	1月1日	3,086,214,794	4,937,943,670.40	
	無償株式割当	5,640,766	9,025,226	
	増資における従業員向け株式の発行	8,439,630	13,503,408	10,127,556
	12月31日	3,100,295,190	4,960,472,304.00	
2014年	1月1日	3,100,295,190	4,960,472,304.00	
	無償株式割当	6,261,106	10,017,769.60	
	増資における従業員向け株式の発行	9,951,325	15,922,120	24,291,184.33
	12月31日	3,116,507,621	4,986,412,193.60	

(後略)

4 【役員の状況】

<訂正前>

(1) 取締役（本書提出日現在）

氏名又は会社名	当行内での 主な役職	社外での 主な役職	略歴
---------	---------------	--------------	----

フランソワ・ペロル 生年月日：1963年11月6日 国籍：フランス ナティクス株式持分： 60,000株	取締役会会長 初就任：2009年4月30日開催の共同株主総会 (取締役会会長：2009年4月30日開催の取締役会) 任期満了日：2015年開催の共同年次及び臨時総会^(a)	BPCEの取締役会会長 パリ・セデックス13、75201ピエール・マンデスーフランス通り50番地	フランソワ・ペロル氏は、2009年からBPCEの業務執行役員会会長及びナティクスの取締役会会長を務めている。同氏は、HEC及びInstitut d'Études Politiques de Parisの卒業生である。ENA卒業後、フランソワ・ペロル氏は、フランス金融監督局(French General Inspectorate of Finance)でキャリアを開始した。財務部(1994年－2002年)を始め、フランシス・メール大臣及びニコラ・サルコジ大臣の内閣(2002年－2004年)を経て、同氏は、経済財務省で様々な地位に就いた。その後政権を離れ、2005年から2007年までRothschild & Cie Banqueで業務執行社員として勤務した。同氏は、2007年から2009年まで大統領の事務次長に就いていた。 主要な専門能力：銀行及び金融機関のための戦略に関する専門知識、並びにフランス及び国際経済金融環境に関する専門知識
BPCE ナティクス株式持分： 2,227,221,174株	取締役 常任代表者：ダニエル・カリヨティス氏 生年月日：1961年2月9日 初就任：2009年8月25日開催の取締役会で選任、2010年5月27日開催の共同株主総会で承認 任期満了日：2015年開催の年次及び臨時株主総会 監査委員会委員 初就任：2013年1月28日開催の取締役会 リスク委員会委員 初就任：2014年12月17日開催の取締役会	BPCEの取締役会役員 財務、リスク及び業務最高責任者 パリ・セデックス13、75201ピエール・マンデスーフランス通り50番地	ダニエル・カリヨティス氏は、2012年12月1日からBPCEの財務リスク業務最高責任者及び業務執行役員会の構成員を務めている。同氏はInstitut d'Études Politiques de Paris及びCentre de perfectionnement à l'analyse financièreの学位並びに金融経済分析の大学院の学位を有しており、Société Généraleで金融市場におけるキャリアを開始した。そこからStandard & Poor'sの銀行部門に移り、その後、Caisse d'Épargne Champagne-Ardenne (Ceca)に入社し、1992年から1997年の間に様々な管理職に就いた。1998年から2001年の間、同氏はCaisse d'Épargne du Pas-de-Calaisの業務執行役員会の構成員及び最高経営責任者を務め、2002年1月にCECAの業務執行役員会会長に就任した。2007年2月、同氏は、Banque Palatineの業務執行役員会会長になった。 さらに、ダニエル・カリヨティス氏は、Société Française des Analystes Financiers (Sfaf-フランス金融アナリスト協会)の会員である。 主要な専門能力：銀行管理におけるすべての分野に関する専門知識

ティエリ・カーン 生年月日：1956年9月25日 国籍：フランス ナティクス株式持分： 1,000株	取締役会会長 初就任：2013年1月28日開催の取締役会で選任、2013年5月21日開催の共同株主総会で承認 任期満了日：2015年開催の共同年次及び臨時株主総会(a)	Banque Populaire Alsace Lorraine Champagneの取締役会会長 ストラスブール・セデックス67000、BP10401クレペール通り4番地、ル・コンコルド・ビル	2003年9月30日からBanque Populaire Alsace Lorraine Champagneの取締役会会長を務めているティエリ・カーン氏は、BPCEの監査役会の役員も務めている。 同氏は、弁護士職適格証明（CAPA）を有しており、1981年にCahn et Associés法律事務所に入所した。1984年、同氏は、コルマル弁護士会の総協議会（Conseil de l'ordre des avocats de Colmar）に入会し、現在も所属している。1986年に、同氏は、全国弁護士協会（Confédération Nationale des avocats）の事務総長に任命され、1995年から1996年まで会長を務めた。その後、1998年から1999年までコルマル弁護士会の会長を務めた。さらに、1985年以降、同氏は、Institut Universitaire de Technologie（IUT）de Haute Alsace及びCRFPA d'Alsaceで主任指導教員を務めている。 主要な専門能力：特に商法の分野における、法的事項に関する専門知識
アラン・コンダミナ 生年月日：1957年4月6日 国籍：フランス ナティクス株式持分： 1,000株	取締役 初就任：2012年5月29日開催の定時株主総会 任期満了日：2018年開催の共同年次及び臨時株主総会(b) 報酬委員会委員 初就任：2012年5月29日開催の取締役会 指名委員会委員 初就任：2014年12月17日開催の取締役会	Banque Populaire Occitaneの最高経営責任者 バルマ・セデックス31135、ジョルジュ・ボンピドー通り33-43番地	アラン・コンダミナ氏は、2006年からBanque Populaire Occitaneの最高経営責任者を務めており、BPCEの監査役会の構成員である。 経済学の学位並びに銀行業及び金融技術の高等専門課程免状を有するアラン・コンダミナ氏は、1984年にBanque Populaireグループに入社した。1992年に、同氏はBanque Populaire Toulouse-Pyrénéesで生産の責任者として勤務を開始し、人事部を監督し、続いて業務の責任者を務めた。2001年に、同氏はBanque Populaire Quercy-Agenaisの最高経営責任者となった。2003年に、同氏は現在のBanque Populaire Occitaneを形成することになる、Banque Populaire du Tarn et de l'Aveyronとの合併、またその後のBanque Populaire Toulouse-Pyrénéesとの合併を経てきた。 主要な専門能力：人事問題及び事業変革に関する専門知識、銀行業務リスクに関する幅広い知識

ローランス・ドゥブルー 生年月日：1969年7月25日 国籍：フランス ナティクス株式持分： 1,000株	独立取締役 初就任：2010年4月1日開催の取締役会で選任、2010年5月27日開催の共同株主総会で承認 任期満了日：2015年開催の共同年次及び臨時株主総会(a) 監査委員会委員 初就任：2010年4月1日開催の取締役会 リスク委員会委員 初就任：2014年12月17日開催の取締役会 戦略委員会会長 初就任：2011年5月11日開催の取締役会	<u>JCDecaux S.A.の財務及び総務最高責任者（2015年1月15日まで）</u> <u>プレジール・セデックス78378、サン・タポリーヌ工業団地</u>	ローランス・ドゥブルー氏は、2010年からJCDecaux S.A.の財務及び総務最高責任者を務めている。 HECの卒業生として、ローランス・ドゥブルー氏は、1992年にメルリンチバンクにてキャリアを開始した。1993年から1996年において、同氏はElf Aquitaineの財務部門で勤務した。1996年に、同氏はSanofiに入社し、まず会計及び財務最高責任者を務め、続いて最高財務責任者となった。その後、戦略部門の役員となり、Sanofi-Aventisのエグゼクティブ・コミティーの役員へと昇進した。 主要な専門能力：財務に関連する問題、コミュニケーション及び事業戦略に関する専門知識
ミシェル・グラス⁽¹⁾ 生年月日：1957年11月12日 国籍：フランス ナティクス株式持分： 189株	取締役 初就任：2014年2月19日開催の取締役会で選任、2014年5月20日開催の共同株主総会で承認 任期満了日：2015年開催の共同年次及び臨時株主総会(a)	Banque Populaire Bourgogne Franche Comtéの取締役会会長 クウェッティニー・セデックス21802、BP63ブルゴーニュ通り5番地	ミシェル・グラス氏は、2010年からBanque Populaire Bourgogne Franche Comtéの取締役会会長を務めている。 Université de PARIS 1で経営学の学位を取得したミシェル・グラス氏は、1983年にサンスの医療区域における医療部門の役員としてキャリアを開始した。1987年から2010年まで、同氏は、民間医療の地域団体を設立し、運営した。2000年、同氏はBanque Populaire de Bourgogneの取締役となり、2009年以降商業裁判所の裁判官として務めた。 主要な専門能力：起業家経験、地域経済構造に関する知識

カトリーヌ・ハルバーシュタット 生年月日：1958年10月9日 国籍：フランス ナティクス株式持分：1,097株	取締役 初就任：2012年5月29日開催の定時株主総会 任期満了日：2018年開催の共同年次及び臨時株主総会(b) 監査委員会委員 初就任：2012年5月29日開催の取締役会 リスク委員会委員 初就任：2014年12月17日開催の取締役会	Banque Populaire Massif Centralの最高経営責任者 クレルモン・フェラン・セデックス1、63057、ジャン・ムーラン通り18番地	カトリーヌ・ハルバーシュタット氏は、2010年からBanque Populaire Massif Centralの最高経営責任者を務めており、BPCEの監査役会の役員である。クレルモン・フェランのÉcole Supérieure de Commerceで財務会計の大学院の学位（DECS）並びに企業経営及び金融の大学院の学位（DESCAF）を有するカトリーヌ・ハルバーシュタット氏は、1982年からGroupe BPCEに属している。同氏は、Banque Populaire du Massif Centralにおいてコミュニケーション部門の責任者（1986年-1992年）になる前、市場調査部門（1982年-1986年）でキャリアを開始した。その後、同氏は、人事及び組織部門の役員（1992年-1998年）、最高財務責任者（1998年-2000年）並びに副最高経営責任者（2000年-2008年）に選任された。2008年に、同氏は、最高経営責任者（2008年-2010年）としてNatixis Factorに入社した。 主要な専門能力：人事問題に関する専門知識、リテールバンキング及び企業金融に関する幅広い知識
アンヌ・ラルー 生年月日：1963年12月6日 国籍：フランス ナティクス株式持分：1,000株	独立取締役 初就任：2015年2月18日開催の取締役会で選任、2015年5月19日開催の共同年次及び臨時株主総会で承認を求めて提出 任期満了日：2015年開催の共同年次及び臨時株主総会(a) 報酬委員会委員 初就任：2015年2月18日開催の取締役会 指名委員会委員 初就任：2015年2月18日開催の取締役会	Web School Factoryの学長及びマネージング・ディレクター パリ75013、ナショナル通り59番地	アンヌ・ラルー氏は2012年からWeb School Factoryの学長及びマネージング・ディレクターを務めている。アンヌ・ラルー氏は、l'École Supérieure des Sciences Économiques et Commerciales (ESSEC) の卒業生である。同氏は、マネージャーとしてキャリアを開始し、その後パリのHavasで顧客開拓・開発部門部長に任命されるまで、ロンドンのLazardでM&A部門のアシスタント・ディレクターを務めた。同氏は、Rothschild & Cieにマネージャーとして入社するまで、Havas Édition Électroniqueの会長及び最高経営責任者であった。同氏は、2002年にNexityに入社し、2006年にNexity-Franchisesの最高経営責任者に任命されるまで、事務総長及び開発担当取締役の役職を務め、2011年まで販売部門の最高経営責任者代理を務めた。 主要な専門能力：起業家経験、M&A、ファイナンス及び企業戦略に関する分野の専門知識

ベルナール・オブティ 生年月日：1956年8月5日 国籍：フランス ナティクス株式持分： 1,000株	独立取締役 初就任：2009年11月12日開催の取締役会で選任、2010年5月27日開催の共同株主総会で承認 任満了日：2015年開催の共同年次及び臨時株主総会(a) 監査委員会会長 初就任：2009年12月17日開催の取締役会 リスク委員会会長 初就任：2014年12月17日開催の取締役会	Centaurus Capitalの会長 WIGOPW、ロンドン、キャヴンディッシュ・スクエア33番地	ベルナール・オブティ氏は、2000年にロンドンで同氏が設立したヘッジファンドグループ、Centaurus Capitalの会長である。 École Polytechniqueの学位を有する同氏は、1979年から2000年の間に、初めはパリで、その後はニューヨークで、そして最終的にロンドンでParibasでのキャリアを築いてきた。 財務管理部門の副役員（1980年-1987年）として、ベルナール・オブティ氏は、Paribas North Americaに入社し、初めにリスク裁定取引トレーダー（1987年-1990年）として、そしてその後はリスク裁定取引部門のグローバルヘッド（1990年-1995年）として務めた。1995年、リスク裁定取引部門を率いたまま、同氏は、株式派生商品部門のグローバルヘッド（1995年-2000年）となるため、ロンドンへ移った。 主要な専門能力：著名な金融市場スペシャリスト、欧州での起業家経験
ステファニー・ペ 生年月日：1965年3月16日 国籍：フランス ナティクス株式持分： 1,093株	取締役 初就任：2012年5月29日開催の定時株主総会 任満了日：2018年開催の共同年次及び臨時株主総会(b) 監査委員会委員 初就任：2012年11月14日開催の取締役会 リスク委員会委員 初就任：2014年12月17日開催の取締役会	Caisse d'Epargne Rhône-Alpesの業務執行役員委員会会長 リヨン・セデックス03、69404、BP3276ウージェーン・ドゥルエル通り42番地	ステファニー・ペ氏は、2011年末以降Caisse d'Epargne Rhône-Alpesの業務執行役員委員会会長を務めている。IEP de Parisの卒業生であり、Université Paris Dauphineの企業税法のDESSを有するペ氏は、1988年からGroupe BPCEに所属している。 Banque Fédérale des Banques Populairesの検査部門で検査官及び部長（1988年-1994年）を務めた後、同氏は、Banque Populaire Rives de Parisに入社し、生産及び組織部門の地域担当役員、その後に同部門の役員（1994年-2002年）を務めた。2002年に、同氏は、Natexis Banques Populaires入社し、業務管理部門の役員、そして現金管理及び業務部門の役員（2002年-2005年）を務めた。2006年に、同氏は、Natixis Factorの最高経営責任者となり、その後Banque Populaire Atlantiqueの最高経営責任者（2008年-2011年）となった。 主要な専門能力：リテールバンキング及び企業金融に関する幅広い知識、銀行監査

ディディエ・パトール 生年月日：1961年2月22日 国籍：フランス ナティクス株式持分： 2,442株	取締役 初就任：2009年4月30日開催の共同株主総会 任満了日：2015年開催の共同年次及び臨時株主総会(a) 報酬委員会委員 (e) 初就任：2009年4月30日開催の取締役会 指名委員会委員 初就任：2014年12月17日開催の取締役会	Caisse d'Epargne ile de Franceの業務執行役員会長 BPCEの監査役会役員 パリ75013、ヌーヴ・トルビアク通り26-28番地	ディディエ・パトール氏は、2013年5月からCaisse d'Epargne île-de-Franceの業務執行役員会長である。 École Polytechnique及びÉcole Nationale de la Statistique et de l'Administration Économique (ENSAE)の卒業生であるディディエ・パトール氏は、Caisse des Dépôts et Consignationsでキャリアを開始した後、1992年からGroupe BPCEに所属している。 同氏はCaisse d'Epargne des Pays du Hainautで様々な金融及び営業職（1992年-1999年）に就いた後、1999年に、Caisse Nationale des Caisses d'Epargneの地域経済市場に関するグループ開発部門の役員として同社に入社した。 2000年に、同氏は、Caisse d'Epargne des Pays du Hainautの業務執行役員会長に選任され、その後Caisse d'Epargne des Pays de la Loireの業務執行役員会長（2004年-2008年）に、そして最終的にCaisse d'Epargne Bretagne-Pays de Loireの業務執行役員会長（2008年-2013年）に就任した。 主要な専門能力：公的機関及び地域経済開発に関する幅広い知識、経営及び財務分析に関する専門知識
アンリ・プログリオ 生年月日：1949年6月29日 国籍：フランス ナティクス株式持分： 1,000株	独立取締役 初就任：2009年4月30日開催の共同株主総会 任満了日：2015年開催の共同年次及び臨時株主総会(a) 指名委員会会長 初就任：2014年12月17日開催の取締役会 報酬委員会委員 初就任：2009年4月30日開催の取締役会	EDFの名誉会長 パリ75008、ワグラム通り22-30番地	アンリ・プログリオ氏は、2009年から2014年11月までEDFの会長及び最高経営責任者を務めていた。 HECの卒業生であるアンリ・プログリオ氏は、1972年にGénérale des Eauxグループ（現Veolia Environnement）でキャリアを開始し、様々な上級経営陣の地位に就いた。1990年に、同氏は、廃棄物の管理及び輸送に特化した子会社であるCGEAの会長及び最高経営責任者に任命された。2000年に、同氏はVivendi Environnement (Veolia Environnement) の会長に、そして2003年に会長及び最高経営責任者に就任した。 2005年、同氏は母校であるHECの学校評議会の会長に任命された。 主要な専門能力：大企業及び戦略課題に関する専門的な知識を有する、全国及び国際的に著名な実業家

フィリップ・スュウール 生年月日：1946年7月4日 国籍：フランス ナティクス株式持分： 4,000株	取締役 初就任：2009年4月30日開催の共同株主総会 任期满了日：2015年開催の共同年次及び臨時株主総会(a) 報酬委員会委員 初就任：2009年12月17日開催の取締役会 指名委員会委員 初就任：2014年12月17日開催の取締役会	Caisse d'Epargne île-de-Franceの指導監査役会会長 アンギャン・レ・バン95880、ジェネラル・ド・ゴール57番地	フィリップ・スュウール氏は、2014年4月からCaisse d'Epargne île-de-Franceの指導監査役会の会長を務めている。フィリップ・スュウール氏は、政治及び歴史学の大学院の学位並びに法学の博士号を有しており、ローマ法及び制度の歴史の准教授である。同氏は、1974年に講師としてキャリアを開始し、Université d'Amiens、その後にUniversité de Paris III - Sorbonne Nouvelle及びUniversité Paris-Nordで正教授になった。1992年から2002年まで、同氏は、Université Paris XIII - Nordの法政治社会学科の学部長を務めた。1989年以降、アンギャン・レ・バンの市長として同氏は、様々な選出された地位に就いており、2011年までは地方議員、1994年以降はバルドアーズ地区の議員、また2001年から2008年の間及び2011年以降再びバルドアーズ総務会の副会長を務めている。 主要な専門能力：公認の学術的権威、地方自治体に関する専門知識
ニコラス・ドゥ・タヴェルノ 生年月日：1950年8月22日 国籍：フランス ナティクス株式持分： 1,000株	独立取締役 初就任：2013年7月31日開催の定時株主総会 任期满了日：2019年開催の共同年次及び臨時株主総会(a) 報酬委員会会長 初就任：2013年8月6日開催の取締役会 指名委員会委員 初就任：2014年12月17日開催の取締役会	M6グループの取締役会会長 ヌイイ・シュル・セーヌ・セデックス92575、シャルル・ド・ゴール通り89番地	ニコラス・ドゥ・タヴェルノ氏は、2000年5月からM6グループの業務執行役員会会長である。ボルドーのIEPの卒業生であり、公法のDESを有するニコラス・ドゥ・タヴェルノ氏は、1975年に、ノルベール・セガール内閣の外国貿易大臣としてキャリアを開始し、その後郵政大臣を務めた。1986年に、同氏は、Lyonnaise des Eauxの視聴覚業務の指揮を執った。その立場において、同氏は、M6を設立する計画を監督した。1987年に、同氏はMétropole Télévision M6の副最高経営責任者に任命され、2000年以降同社の業務執行役員会の会長を務めている。 主要な専門能力：戦略、管理及び事業開発問題に関する専門知識

ピエール・ヴァレンティン 生年月日：1953年2月6日 国籍：フランス ナティクス株式持分： 1,000株	取締役 初就任：2013年1月28日開催の取締役会で選任、2013年5月21日開催の共同株主総会で承認 任期満了日：2015年開催の共同年次及び臨時株主総会(a)	Caisse d'Epargne Languedoc-Roussillonの指導監査役会会長 モンペリエ・セデックス4、34184、BP7330ミッシェル・トゥレ通り254番地	ピエール・ヴァレンティン氏は、2006年以降、Caisse d'Epargne Languedoc-Roussillonの指導監査役会の会長を務めており、BPCEの監査役会の役員である。ピエール・ヴァレンティン氏は、Institut des Assurances d'Aix-Marseilleにおいて私法の学位及びその他の学位を有している。起業家である同氏は、1978年に、リヨンのMutuelle d'Assurances du Bâtiment et des Travaux Publicでキャリアを開始した。1979年に、同氏はValentin Immobilierを起業し、Caisse d'Epargneネットワークに参加した。1984年に、同氏は、Caisse d'Epargne d'Alèsの諮問委員会に加わった。1991年に、同氏は、Caisse d'Epargne Languedoc-Roussillonの諮問委員会に加わった。2000年以降、同氏は、Caisse d'Epargne Languedoc-Roussillonの指導監査役会の役員を務めている。 主要な専門能力：起業家経験、地域開発問題に関する知識
---	---	--	---

(1) ミシェル・グラス氏は、2014年2月18日付で辞任したステヴ・ジャンティリ氏の後任として取締役に選任された。

(2) 取締役は全員戦略委員会に参加する。

(a) 2014年度財務諸表を承認するために開催された共同年次及び臨時株主総会。

(b) 2017年度財務諸表を承認するために開催された共同年次及び臨時株主総会。

(c) 2018年度財務諸表を承認するために開催された共同年次及び臨時株主総会。

(2) 上級経営陣（本書提出日現在）

執行役の氏名	当行内での主な役職	社外での主な役職	略歴
ローラン・ミニョン 生年月日：1963年12月28日 国籍：フランス ナティクス株式持分： 1,090株	最高経営責任者 初就任：2009年4月30日開催の取締役会（2009年5月14日に発効） 任期更新日：2015年2月18日開催の取締役会 任期満了日：2019年開催の共同年次及び臨時株主総会	BPCEの取締役会役員	ローラン・ミニョン氏は、2009年5月14日からナティクスの最高経営責任者を務めており、2013年8月6日からBPCEの業務執行役員会構成員を務めている。HEC及びStanford Executive Programの卒業生として、ローラン・ミニョン氏は、Banque Indosuezで10年以上勤務し、取引フロアからコーポレート・バンキングまで様々な職種に就いた。1996年に、同氏は、ロンドンのSchroeders Bankに入社し、その後1997年にはAGFの財務部門責任者となった。同氏は、1998年に、エグゼクティブ・コミティーの役員に任命され、その後2002年に、Banque AGF、AGF Asset Management及びAGF Immobilierの副最高経営責任者に就任した。同氏は、2003年に、生活及び金融サービス部門並びに信用保険部門を担当する最高経営責任者となり、2006年にエグゼクティブ・コミティーの会長に就任した。2007年9月から2009年5月まで、同氏は、Oddo et Cieと同時にPhilippe Oddoの副マネージャーを務めた。

(3) 上級経営委員会及びエグゼクティブ・コミティー

・上級経営委員会（CDG）の委員（本書提出日現在）

ローラン・ミニョン 最高経営責任者 上級経営委員会会長	リュック・エマニュエル・ オーベルジュ カルチュアル・チェンジ、 イノベーション及びデジタ ル部門	ジル・ペルー 専門金融サービス部門	ジャン・ジュヴァル ファイナンス及びリスク部 門
ノルベルト・クロン オペレーション部門及び情 報システム	アラン・デュルイ 人事部	ジャン・フランソワ・レコ ア 投資ソリューション部門－ 保険	アンドレ・ジャン・ オリヴィエ 会社秘書室
オリヴィエ・ベルケル ホールセール・バンキング －ファイナンス及びグ ローバル・マーケット部門 (FGM)	ピエール・セルヴァン 投資ソリューション部門－ 資産運用及びプライベ ート・バンキング	マルク・ヴァンサン ホールセール・バンキング －カバレッジ及びアドバイ ザリー部門 (CA)	

・エグゼクティブ・コミティー (COMEX) の役員 (本書提出日現在)

ローラン・ミニョン 最高経営責任者	ステファン・アブー FGM－アメリカ	パトリック・アルチュ チーフエコノミスト－ナ ティクス	リュック・エマニュエル・ オーベルジュ カルチュアル・チェンジ、 イノベーション及びデジタ ル部門
ジル・ペルー 専門金融サービス部門	ジャック・ペイサード リスク部門	ナタリー・ブルテル 保険部門－Natixis Assurances	ステファン・カミナティ ⁽¹⁾ SFS－Natixis Interépargne
クリストフ・カールス SFS－Natixis Factor	マルク・カテリン SFS－EuroTitres	フレデリク・シュノ SFS－Natixis Financement	ジャン・シュヴァル ファイナンス及びリスク部 門
ノルベルト・クロン オペレーション部門及び情 報システム	エリザベス・ド・ゴール コミュニケーション及びCSR	ジョルジュ・エリック・ デ・ラ・ブルニエール 資産運用及びプライベ ート・バンキング－Banque Privée 1818	ピエール・ドゥブレ FGM－ストラクチャー・ ファイナンス業務
アラン・デュルイ 人事部	ピエール・アンリ・ドナン FGM－EMEA Europe (フ ラ ン スを除く。) 、中東、アフ リカ	カトリーヌ・フルニエ SFS－Natixis Payment Solutions	リュック・フランソワ FGM－グローバル・マーケッ ツ部門
ジョン・ヘイラー 資産運用及びプライベ ート・バンキング－Natixis Global Asset Management US and Asia	エルヴェ・ウッス 一般的調査部門	ポール・ケランゲヴァン 保険部門－BPCE Assurances	クリストフ・ランヌ FGM－グローバル・マネー メント及びトランザクショ ン・バンキング
クリスチャン・ル・イール 会社秘書室－主任法務官	ジャン・フランソワ・レコ ア 投資ソリューション部門－ 保険	ニコラス・ナミアス 戦略部門	アンドレ・ジャン・オリ ヴィエ 会社秘書室
オリヴィエ・ベルケル ホールセール・バンキング －ファイナンス及びグ ローバル・マーケット部門 (FGM)	フランソワ・リアイ FGM－アジア太平洋	アンヌ・サレ・モンゴーズ SFS－Compagnie Européenne de Garanties et Cautions	ピエール・セルヴァン 投資ソリューション部門－ 資産運用及びプライベ ート・バンキング
ディディエ・トリュパン SFS－Natixis Lease	マルク・ヴァンサン ホールセール・バンキング －カバレッジ及びアドバイ ザリー部門 (CA)	パスカル・ヴォアザン 資産運用及びプライベ ート・バンキング－Natixis Asset Management	

(後略)

<訂正後>

(1) 取締役 (本書提出日現在)

氏名又は会社名	当行内での 主な役職	社外での 主な役職	略歴
フランソワ・ペロル 生年月日：1963年11月6日 国籍：フランス ナティクス株式持分： 60,000株	取締役会会長 初就任：2009年4月30日開催の共同株主総会 （取締役会会長：2009年4月30日開催の取締役会） 任期満了日：2019年開催の年次総会(a) 戦略委員会委員 初就任：2011年5月5日開催の取締役会	BPCEの取締役会会長 パリ・セデックス13、75201ピエール・マンデスーフランス通り50番地	フランソワ・ペロル氏は、2009年からBPCEの業務執行役員会会長及びナティクスの取締役会会長を務めている。同氏は、HEC及びInstitut d'Études Politiques de Parisの卒業生である。ENA卒業後、フランソワ・ペロル氏は、フランス金融監督局(French General Inspectorate of Finance)でキャリアを開始した。財務部（1994年－2002年）を始め、フランシス・メール大臣及びニコラ・サルコジ大臣の内閣（2002年－2004年）を経て、同氏は、経済財務省で様々な地位に就いた。その後政権を離れ、2005年から2007年までRothschild & Cie Banqueで業務執行社員として勤務した。同氏は、2007年から2009年まで大統領の事務次長に就いていた。 主要な専門能力：銀行及び金融機関のための戦略に関する専門知識、並びにフランス及び国際経済金融環境に関する専門知識
BPCE ナティクス株式持分： 2,227,221,174株	取締役 常任代表者：ダニエル・カリヨティス氏 生年月日：1961年2月9日 初就任：2009年8月25日開催の取締役会で選任、2010年5月27日開催の共同株主総会で承認 任期満了日：2019年開催の年次総会(a) 監査委員会委員 初就任：2013年1月28日開催の取締役会 リスク委員会委員 初就任：2014年12月17日開催の取締役会 戦略委員会委員 初就任：2013年1月28日開催の取締役会	BPCEの取締役会役員 財務、リスク及び業務最高責任者 パリ・セデックス13、75201ピエール・マンデスーフランス通り50番地	ダニエル・カリヨティス氏は、2012年12月1日からBPCEの財務リスク業務最高責任者及び業務執行役員会の構成員を務めている。同氏はInstitut d'Études Politiques de Paris及びCentre de perfectionnement à l'analyse financièreの学位並びに金融経済分析の大学院の学位を有しており、Société Généraleで金融市場におけるキャリアを開始した。そこからStandard & Poor'sの銀行部門に移り、その後、Caisse d'Épargne Champagne-Ardenne（Ceca）に入社し、1992年から1997年の間に様々な管理職に就いた。1998年から2001年の間、同氏はCaisse d'Épargne du Pas-de-Calaisの業務執行役員会の構成員及び最高経営責任者を務め、2002年1月にCECAの業務執行役員会会長に就任した。2007年2月、同氏は、Banque Palatineの業務執行役員会会長になった。さらに、ダニエル・カリヨティス氏は、Société Française des Analystes Financiers（Sfaf-フランス金融アナリスト協会）の会員である。 主要な専門能力：銀行管理におけるすべての分野に関する専門知識

ティエリ・カーン 生年月日：1956年9月25日 国籍：フランス ナティクス株式持分： 1,000株	取締役 初就任：2013年1月28日開催の取締役会で選任、2013年5月21日開催の共同株主総会で承認 任期満了日：2019年開催の年次総会(a) 戦略委員会委員 初就任：2013年1月28日開催の取締役会	Banque Populaire Alsace Lorraine Champagneの取締役会会長 ストラスブール・セデックス67000、BP10401クレペール通り4番地、ル・コンコルド・ビル	2003年9月30日からBanque Populaire Alsace Lorraine Champagneの取締役会会長を務めているティエリ・カーン氏は、BPCEの監査役会の役員も務めている。 同氏は、弁護士職適格証明（CAPA）を有しており、1981年にCahn et Associés法律事務所に入所した。1984年、同氏は、<u>コルマル</u>弁護士会の総協議会（Conseil de l'Ordre des avocats de Colmar）に入会し、現在も所属している。1986年に、同氏は、全国弁護士協会（Confédération Nationale des avocats）の事務総長に任命され、1995年から1996年まで会長を務めた。その後、1998年から1999年までコルマル弁護士会の会長を務めた。さらに、1985年以降、同氏は、Institut Universitaire de Technologie（IUT）de Haute Alsace及びCRFPA d'Alsaceで主任指導教員を務めている。 主要な専門能力：特に商法の分野における、法的事項に関する専門知識
アラン・コンダミナ 生年月日：1957年4月6日 国籍：フランス ナティクス株式持分： 1,000株	取締役 初就任：2012年5月29日開催の定時株主総会 任期満了日：2016年開催の年次総会(b) 報酬委員会委員 初就任：2012年5月29日開催の取締役会 指名委員会委員 初就任：2014年12月17日開催の取締役会 戦略委員会委員 初就任：2012年5月29日開催の取締役会	Banque Populaire Occitaneの最高経営責任者 バルマ・セデックス31135、ジョルジュ・ボンピドー通り33-43番地	アラン・コンダミナ氏は、2006年からBanque Populaire Occitaneの最高経営責任者を務めており、BPCEの監査役会の構成員である。 経済学の学位並びに銀行業及び金融技術の高等専門課程免状を有するアラン・コンダミナ氏は、1984年にBanque Populaireグループに入社した。1992年に、同氏はBanque Populaire Toulouse-Pyrénéesで生産の責任者として勤務を開始し、人事部を監督し、続いてオペレーション部門の責任者を務めた。2001年に、同氏はBanque Populaire Quercy-Agenaisの最高経営責任者となった。2003年に、同氏は現在のBanque Populaire Occitaneを形成することになる、Banque Populaire du Tarn et de l'Aveyronとの合併、またその後のBanque Populaire Toulouse-Pyrénéesとの合併を経てきた。 主要な専門能力：人事問題及び事業変革に関する専門知識、銀行業務リスクに関する幅広い知識

ローランス・ドゥブルー 生年月日：1969年7月25日 国籍：フランス ナティクス株式持分： 1,000株	独立取締役 初就任：2010年4月1日開催の取締役会で選任、2010年5月27日開催の共同株主総会で承認 任期満了日：2019年開催の年次総会(a) 監査委員会委員 初就任：2010年4月1日開催の取締役会 リスク委員会委員 初就任：2014年12月17日開催の取締役会 戦略委員会会長 初就任：2011年5月11日開催の取締役会	<u>Heineken NVの執行委員会委員及び最高財務責任者（2015年4月24日以降）</u> <u>オランダ、アムステルダム、1000AA、P.O. Box28、1017ZDアムステルダム、トウェーデ・ウェーテリンプラントスーン21</u>	ローランス・ドゥブルー氏は、2010年から2015年1月15日までJCDecaux S.A.の財務及び総務最高責任者を務めていた。HECの卒業生として、ローランス・ドゥブルー氏は、1992年にメルリンチバンクにてキャリアを開始した。1993年から1996年において、同氏はElf Aquitaineの財務部門で勤務した。1996年に、同氏はSanofiに入社し、まず会計及び財務最高責任者を務め、続いて最高財務責任者となった。その後、戦略部門の役員となり、Sanofi-Aventisのエグゼクティブ委員会の役員へと昇進した。 主要な専門能力：財務に関連する問題、コミュニケーション及び事業戦略に関する専門知識
アラン・ドニゾ 生年月日：1960年10月1日 国籍：フランス ナティクス株式持分： 0株	取締役 初就任：2015年5月19日開催の共同株主総会 任期満了日：2019年開催の年次総会(a) 報酬委員会委員 初就任：2015年5月19日開催の取締役会 指名委員会委員 初就任：2015年5月19日開催の取締役会 戦略委員会委員 初就任：2015年5月19日開催の取締役会	<u>Caisse d'Epargne Nord France Europe (CENFE)の業務執行役員会会長</u> <u>ユーラリール、59777、ポン・ド・フランドル135番地</u>	パリのInstitut d'Administration des Entreprisesにおける農業経営学の学位だけでなく、会計学の大学院の学位を有しているアラン・ドニゾ氏は、Crédit du Nordでキャリアを開始し、その後SG Warburg Franceで、続いてSociété Marseillaise de Créditで勤めた。1990年に同氏はCaisse d'Epargne Ile de France-Ouestにマネージャーとして入社し、その後財務管理担当部長となった。1995年に同氏はリスク及び財務部門に関する業務執行役員会の構成員となり、1999年にはネットワーク及び開発に関する業務執行役員会の構成員となった。2000年に同氏はCaisse d'Epargne de Flandreに最高経営責任者並びにネットワーク及び銀行開発に関する業務執行役員会の構成員として入社した。2003年に同氏はEcureuil Assurance IARDの最高経営責任者となった。2008年初頭に同氏はCaisse d'Epargne de Picardieの業務執行役員会会長に任命され、2011年にはCaisse d'Epargne Nord France Europeに業務執行役員会会長として入社した。2013年5月6日付でBPCEの監査役会の役員並びに監査及びリスク委員会の構成員に任命されるまで、アラン・ドニゾ氏は議決権を有しない法定取締役であった。 主要な専門能力：財務管理、リスク、開発及び保険に関する専門性を有する

ミシェル・グラス⁽¹⁾ 生年月日：1957年11月12日 国籍：フランス ナティクス株式持分： 189株	取締役 初就任：2014年2月19日開催の取締役会で選任、2014年5月20日開催の共同株主総会で承認 任満了日：2019年開催の年次総会(a) 戦略委員会委員 初就任：2014年2月19日開催の取締役会	Banque Populaire Bourgogne Franche Comtéの取締役会会長 クウェッティニー・セデックス21802、BP63ブルゴーニュ通り5番地	ミシェル・グラス氏は、2010年からBanque Populaire Bourgogne Franche Comtéの取締役会会長を務めている。Université de PARIS 1で経営学の学位を取得したミシェル・グラス氏は、1983年にサンスの医療区域における医療部門の役員としてキャリアを開始した。1987年から2010年まで、同氏は、民間医療の地域団体を設立し、運営した。2000年、同氏はBanque Populaire de Bourgogneの取締役となり、2009年以降商業裁判所の裁判官として務めた。 主要な専門能力：起業家経験、地域経済構造に関する知識
カトリーヌ・ハルパーシュタット 生年月日：1958年10月9日 国籍：フランス ナティクス株式持分： 1,097株	取締役 初就任：2012年5月29日開催の定時株主総会 任満了日：2016年開催の年次総会(b) 監査委員会委員 初就任：2012年5月29日開催の取締役会 リスク委員会委員 初就任：2014年12月17日開催の取締役会 戦略委員会委員 初就任：2012年5月29日開催の取締役会	Banque Populaire Massif Centralの最高経営責任者 クレルモン・フェラン・セデックス1、63057、ジャン・ムーラン通り18番地	カトリーヌ・ハルパーシュタット氏は、2010年からBanque Populaire Massif Centralの最高経営責任者を務めており、BPCEの監査役会の役員である。クレルモン・フェランのÉcole Supérieure de Commerceで財務会計の大学院の学位（DECS）並びに企業経営及び金融の大学院の学位（DESCAF）を有するカトリーヌ・ハルパーシュタット氏は、1982年からGroupe BPCEに属している。同氏は、Banque Populaire du Massif Centralにおいてコミュニケーション部門の責任者（1986年-1992年）になる前、市場調査部門（1982年-1986年）でキャリアを開始した。その後、同氏は、人事及び組織部門の役員（1992年-1998年）、最高財務責任者（1998年-2000年）並びに副最高経営責任者（2000年-2008年）に選任された。2008年に、同氏は、最高経営責任者（2008年-2010年）としてNatixis Factorに入社した。 主要な専門能力：人事問題に関する専門知識、リテールバンキング及び企業金融に関する幅広い知識

アンヌ・ラルー 生年月日：1963年12月6日 国籍：フランス ナティクス株式持分： 1,000株	独立取締役 初就任：2015年2月18日開催の取締役会で選任、2015年5月19日開催の年次総会で承認を求めて提出 任満了日：2019年開催の年次総会(a) 報酬委員会委員 初就任：2015年2月18日開催の取締役会 指名委員会委員 初就任：2015年2月18日開催の取締役会 戦略委員会委員 初就任：2015年2月18日開催の取締役会	Web School Factoryの学長及びマネージング・ディレクター パリ75013、ナショナル通り59番地	アンヌ・ラルー氏は2012年からWeb School Factoryの学長及びマネージング・ディレクターを務めている。アンヌ・ラルー氏は、l'École Supérieure des Sciences Économiques et Commerciales (ESSEC) の卒業生である。同氏は、マネージャーとしてキャリアを開始し、その後パリのHavasで顧客開拓・開発部門部長に任命されるまで、ロンドンのLazardでM&A部門のアシスタント・ディレクターを務めた。同氏は、Rothschild & Cieにマネージャーとして入社するまで、Havas Édition Électroniqueの会長及び最高経営責任者であった。 同氏は、2002年にNexityに入社し、2006年にNexity-Franchisesの最高経営責任者に任命されるまで、事務総長及び開発担当取締役の役職を務め、2011年まで販売部門の最高経営責任者代理を務めた。 主要な専門能力：起業家経験、M&A、ファイナンス及び企業戦略に関する分野の専門知識
ベルナール・オプティ 生年月日：1956年8月5日 国籍：フランス ナティクス株式持分： 1,000株	独立取締役 初就任：2009年11月12日開催の取締役会で選任、2010年5月27日開催の共同株主総会で承認 任満了日：2019年開催の年次総会(a) 監査委員会会長 初就任：2009年12月17日開催の取締役会 リスク委員会会長 初就任：2014年12月17日開催の取締役会 戦略委員会委員 初就任：2011年5月11日開催の取締役会	Centaurus Capitalの会長 WIGOPW、ロンドン、キャヴァンディッシュ・スクエア33番地	ベルナール・オプティ氏は、2000年にロンドンで同氏が設立したヘッジファンドグループ、Centaurus Capitalの会長である。 École Polytechniqueの学位を有する同氏は、1979年から2000年の間に、初めはパリで、その後はニューヨークで、そして最終的にロンドンでParibasでのキャリアを築いてきた。 財務管理部門の副役員（1980年-1987年）として、ベルナール・オプティ氏は、Paribas North Americaに入社し、初めにリスク裁定取引トレーダー（1987年-1990年）として、そしてその後はリスク裁定取引部門のグローバルヘッド（1990年-1995年）として務めた。1995年、リスク裁定取引部門を率いたまま、同氏は、株式派生商品部門のグローバルヘッド（1995年-2000年）となるため、ロンドンへ移った。 主要な専門能力：著名な金融市場スペシャリスト、欧州での起業家経験

ステファニー・ペ 生年月日：1965年3月16日 国籍：フランス ナティクス株式持分： 1,093株	取締役 初就任：2012年5月29日開催の定時株主総会 任期満了日：2016年開催の年次総会(b) 監査委員会委員 初就任：2012年11月14日開催の取締役会 リスク委員会委員 初就任：2014年12月17日開催の取締役会 戦略委員会委員 初就任：2012年5月29日開催の取締役会	Caisse d'Epargne Rhône-Alpesの業務執行役員会長 リヨン・セデックス03、69404、BP3276ウー ジェーン・ドゥルエル通り42番地	ステファニー・ペ氏は、2011年末以降Caisse d'Epargne Rhône-Alpesの業務執行役員会長を務めている。IEP de Parisの卒業生であり、Université Paris Dauphineの企業税法のDESSを有するペ氏は、1988年からGroupe BPCEに所属している。 Banque Fédérale des Banques Populairesの検査部門で検査官及び部長（1988年-1994年）を務めた後、同氏は、Banque Populaire Rives de Parisに入社し、生産及び組織部門の地域担当役員、その後に同部門の役員（1994年-2002年）を務めた。2002年に、同氏は、Natexis Banques Populaires入社し、業務管理部門の役員、そして現金管理及び業務部門の役員（2002年-2005年）を務めた。2006年に、同氏は、Natixis Factorの最高経営責任者となり、その後Banque Populaire Atlantiqueの最高経営責任者（2008年-2011年）となった。 主要な専門能力：リテールバンキング及び企業金融に関する幅広い知識、銀行監査
アンリ・プログリオ 生年月日：1949年6月29日 国籍：フランス ナティクス株式持分： 1,000株	独立取締役 初就任：2009年4月30日開催の共同株主総会 任期満了日：2019年開催の年次総会(a) 指名委員会会長 初就任：2014年12月17日開催の取締役会 報酬委員会委員 初就任：2009年4月30日開催の取締役会 戦略委員会委員 初就任：2011年5月11日開催の取締役会	EDFの名誉会長 パリ75008、ワグラム通り22-30番地	アンリ・プログリオ氏は、2009年から2014年11月までEDFの会長及び最高経営責任者を務めていた。 HECの卒業生であるアンリ・プログリオ氏は、1972年にGénérale des Eauxグループ（現Veolia Environnement）でキャリアを開始し、様々な上級経営陣の地位に就いた。1990年に、同氏は、廃棄物の管理及び輸送に特化した子会社であるCGEAの会長及び最高経営責任者に任命された。2000年に、同氏はVivendi Environnement（Veolia Environnement）の会長に、そして2003年に会長及び最高経営責任者に就任した。 2005年、同氏は母校であるHECの学校評議会の会長に任命された。 主要な専門能力：大企業及び戦略課題に関する専門的な知識を有する、全国及び国際的に著名な実業家

フィリップ・スュウール 生年月日：1946年7月4日 国籍：フランス ナティクス株式持分： 4,000株	取締役 初就任：2009年4月30日開催の共同株主総会 任満了日：2019年開催の年次総会(a) 報酬委員会委員 初就任：2009年12月17日開催の取締役会 指名委員会委員 初就任：2014年12月17日開催の取締役会 戦略委員会委員 初就任：2011年5月11日開催の取締役会	Caisse d'Epargne Île-de-Franceの指導監査役会会長 アンギャン・レ・バン95880、ジェネラル・ド・ゴール57番地	フィリップ・スュウール氏は、2014年4月からCaisse d'Epargne Île-de-Franceの指導監査役会の会長を務めている。フィリップ・スュウール氏は、政治及び歴史学の大学院の学位並びに法学の博士号を有しており、ローマ法及び制度の歴史の准教授である。同氏は、1974年に講師としてキャリアを開始し、Université d'Amiens、その後にUniversité de Paris III - Sorbonne Nouvelle及びUniversité Paris-Nordで正教授になった。1992年から2002年まで、同氏は、Université Paris XIII - Nordの法政治社会学科の学部長を務めた。1989年以降、アンギャン・レ・バンの市長として同氏は、様々な選出された地位に就いており、2011年までは地方議員、1994年以降はバルドアーズ地区の議員、また2001年から2008年の間及び2011年以降再びバルドアーズ総務会の副会長を務めている。 主要な専門能力：公認の学術的権威、地方自治体に関する専門知識
ニコラス・ドゥ・タヴェルノ 生年月日：1950年8月22日 国籍：フランス ナティクス株式持分： 1,000株	独立取締役 初就任：2013年7月31日開催の定時株主総会 任満了日：2017年開催の年次総会(c) 報酬委員会会長 初就任：2013年8月6日開催の取締役会 指名委員会委員 初就任：2014年12月17日開催の取締役会 戦略委員会委員 初就任：2013年7月31日開催の取締役会	M6グループの取締役会会長 ヌイイ・シュル・セーヌ・セデックス92575、シャルル・ド・ゴール通り89番地	ニコラス・ドゥ・タヴェルノ氏は、2000年5月からM6グループの業務執行役員会会長である。ボルドーのIEPの卒業生であり、公法のDESを有するニコラス・ドゥ・タヴェルノ氏は、1975年に、ノルベール・セガール内閣の外国貿易大臣としてキャリアを開始し、その後郵政大臣を務めた。1986年に、同氏は、Lyonnaise des Eauxの視聴覚業務の指揮を執った。その立場において、同氏は、M6を設立する計画を監督した。1987年に、同氏はMétropole Télévision M6の副最高経営責任者に任命され、2000年以降同社の業務執行役員会の会長を務めている。 主要な専門能力：戦略、管理及び事業開発問題に関する専門知識

ピエール・ヴァレンティン 生年月日：1953年2月6日 国籍：フランス ナティクス株式持分： 1,000株	取締役 初就任：2013年1月28日開催の取締役会で選任、2013年5月21日開催の共同株主総会で承認 任期满了日：2019年開催の年次総会(a) 戦略委員会委員 初就任：2013年1月28日開催の取締役会	Caisse d'Epargne Languedoc-Roussillonの指導監査役会会長 モンペリエ・セデックス4、34184、BP7330ミッシェル・トゥレ通り254番地	ピエール・ヴァレンティン氏は、2006年以降、Caisse d'Epargne Languedoc-Roussillonの指導監査役会の会長を務めており、BPCEの監査役会の役員である。ピエール・ヴァレンティン氏は、Institut des Assurances d'Aix-Marseilleにおいて私法の学位及びその他の学位を有している。起業家である同氏は、1978年に、リヨンのMutuelle d'Assurances du Bâtiment et des Travaux Publicでキャリアを開始した。1979年に、同氏はValentin Immobilierを起業し、Caisse d'Épargneネットワークに参加した。1984年に、同氏は、Caisse d'Épargne d'Alèsの諮問委員会に加わった。1991年に、同氏は、Caisse d'Épargne Languedoc-Roussillonの諮問委員会に加わった。2000年以降、同氏は、Caisse d'Épargne Languedoc-Roussillonの指導監査役会の役員を務めている。 主要な専門能力：起業家経験、地域開発問題に関する知識
---	---	--	---

- (1) ミシェル・グラス氏は、2014年2月18日付で辞任したステヴ・ジャンティリ氏の後任として取締役に選任された。
- (2) 取締役は全員戦略委員会に参加する。
- (a) 2018年度財務諸表を承認するために開催された年次総会。
- (b) 2015年度財務諸表を承認するために開催された年次総会。
- (c) 2016年度財務諸表を承認するために開催された年次総会。

(2) 上級経営陣（本書提出日現在）

執行役の氏名	当行内での主な役職	社外での主な役職	略歴
ローラン・ミニョン 生年月日：1963年12月28日 国籍：フランス ナティクス株式持分： 1,090株	最高経営責任者 初就任：2009年4月30日開催の取締役会（2009年5月14日に発効） 任期更新日：2015年2月18日開催の取締役会 任期满了日：2019年開催の年次総会	BPCEの取締役会役員	ローラン・ミニョン氏は、2009年5月14日からナティクスの最高経営責任者を務めており、2013年8月6日からBPCEの業務執行役員会構成員を務めている。HEC及びStanford Executive Programの卒業生として、ローラン・ミニョン氏は、Banque Indosuezで10年以上勤務し、取引フロアからコーポレート・バンキングまで様々な職種に就いた。1996年に、同氏は、ロンドンのSchroeders Bankに入社し、その後1997年にはAGFの財務部門責任者となった。同氏は、1998年に、エグゼクティブ委員会の役員に任命され、その後2002年に、Banque AGF、AGF Asset Management及びAGF Immobilierの副最高経営責任者に就任した。同氏は、2003年に、生活及び金融サービス部門並びに信用保険部門を担当する最高経営責任者となり、2006年にエグゼクティブ委員会の会長に就任した。2007年9月から2009年5月まで、同氏は、Oddo et Cieと同時にPhilippe Oddoの副マネージャーを務めた。

(3) 上級経営委員会及びエグゼクティブ委員会

- ・上級経営委員会（CDG）の委員（本書提出日現在）

ローラン・ミニョン 最高経営責任者 上級経営委員会会長	ジル・ペルー 専門金融サービス部門	ジャン・ジュヴァル ファイナンス及びリスク部 門	ノルベルト・クロン オペレーション部門及び情 報システム
アラン・デュルイ 人事部	ジャン・フランソワ・レコ ア 投資ソリューション部門－ 保険	アンドレ・ジャン・ オリヴィエ 会社秘書室	オリヴィエ・ペルケル ホールセール・バンキング －ファイナンス及びグ ローバル・マーケット部門 (FGM)
ピエール・セルヴァン 投資ソリューション部門－ 資産運用及びプライベ ート・バンキング	マルク・ヴァンサン ホールセール・バンキング －カバレッジ及びアドバイ ザリー部門 (CA)		

・エグゼクティブ委員会 (COMEX) の役員 (本書提出日現在)

ローラン・ミニョン 最高経営責任者	ステファン・アブー FGM－アメリカ	パトリック・アルチュ チーフエコノミスト－ナ ティクス	ジル・ペルー 専門金融サービス部門
ナタリー・ブルテル 保険部門－Natixis Assurances	ステファン・カミナティ ⁽¹⁾ SFS－Natixis Interépargne	クリストフ・カールス SFS－Natixis Factor	マルク・カテリン SFS－EuroTitres
フレデリク・シュノ SFS－Natixis Financement	ジャン・シュヴァル ファイナンス及びリスク部 門	ノルベルト・クロン オペレーション部門及び情 報システム	エリザベス・ド・ゴール コミュニケーション及びCSR
ジョルジュ・エリック・ デ・ラ・ブルニエール 資産運用及びプライベ ート・バンキング－Banque Privée 1818	ピエール・ドゥブレー FGM－ストラクチャード・ ファイナンス業務	アラン・デュルイ 人事部	ピエール・アンリ・ドナン FGM－EMEA Europe (フ ランスを除く。)、中東、ア フリカ
カトリーヌ・フルニエ SFS－Natixis Payment Solutions	リュック・フランソワ FGM－グローバル・マーケッ ツ部門	ジョン・ヘイラー 資産運用及びプライベ ート・バンキング－Natixis Global Asset Management US and Asia	エルヴェ・ウッス 一般的調査部門
ポール・ケラングヴァン 保険部門－BPCE Assurances	クリストフ・ランヌ FGM－グローバル・マネー メント及びトランザクシ ョン・バンキング	クリスチャン・ル・イール 会社秘書室－主任法務官	ジャン・フランソワ・レコ ア 投資ソリューション部門－ 保険
イザベル・モーリー 会社秘書室－コンプライア ンス	ニコラス・ナミアス 戦略部門	アンドレ・ジャン・オリ ヴィエ 会社秘書室	オリヴィエ・ペルケル ホールセール・バンキング －ファイナンス及びグ ローバル・マーケット部門 (FGM)
フランソワ・リアイ FGM－アジア太平洋	アンヌ・サレ・モンゴーズ SFS－Compagnie Européenne de Garanties et Cautions	ピエール・セルヴァン 投資ソリューション部門－ 資産運用及びプライベ ート・バンキング	ディディエ・トリュパン SFS－Natixis Lease
マルク・ヴァンサン ホールセール・バンキング －カバレッジ及びアドバイ ザリー部門 (CA)	パスカル・ヴォアザン 資産運用及びプライベ ート・バンキング－Natixis Asset Management		

(後略)